

「(仮称) 第 4 期県立高校将来構想」の策定について

1 策定の趣旨

本県では、平成 31 年に策定した「第 3 期県立高校将来構想」に基づき、「未来を担う高い志を持つ人づくり」や「未来を拓く魅力ある学校づくり」を目指して、志教育の推進や地域のニーズに応える高校づくり、生徒数の減少に対応した学級減や学校再編などの高校教育改革に取り組んでいる。

しかし、本県の中学校卒業生数は、令和 5 年 3 月の 19,973 人から 15 年後には約 7 千人の急激な減少が見込まれており、少子化が加速化する中であって、生徒の多様な学習ニーズに応じた学びや、地域産業を支える人材育成に向けた産業分野の学びをどのように確保していくか早期に検討する必要があることなどから、次期将来構想の策定を 3 年前倒しし、計画期間を令和 8 年度から 17 年度として策定するものとする。

2 策定方法

策定に当たっては、有識者等で組織する「県立高等学校将来構想審議会」に諮問するとともに、学校関係者を含む県民の意見を本構想に反映させるため、アンケート調査やパブリックコメント、意見聴取会等を実施する。

【策定に当たっての検討項目】

- ・急速な少子化が進む中での高校教育の在り方
- ・学校配置の基本的な考え方
- ・学校配置（県全体、地区別、学科別）
- ・小規模校の学びの在り方（遠隔教育等）
- ・高校の魅力化推進（普通科改革、学校間・学科間連携、新たな学科、不登校特例校、インクルーシブ教育）
- ・スクール・ミッションの再定義（地区別、学科別配置の考え方を踏まえた各学校のミッション）

3 県立高等学校将来構想審議会スケジュール(予定)

開催時期		審議内容					
		県立高等学校将来構想審議会	(仮称)学校配置検討部会	(仮称)高校魅力化検討部会	(仮称)小規模校の学びの在り方検討部会	(仮称)多様な学びの在り方検討部会	
R6	2.16	・会長、副会長の選任 ・諮問、趣旨説明 ・本県の中学校卒業生数推移等 ・検討の進め方	—	—	—	—	
	5月	・今後の高校教育の在り方 ・部会の設置 ・学校配置の基本的な考え方	—	—	—	—	
	7月	—	①地区別の学校配置の方向性	①高校魅力化方策	①遠隔授業、学校間連携等	①不登校、学び直し等への対応、定時制・通信制の在り方	
	9月	—	②地区別の学校配置の方向性	②普通科改革、新たな学科	②地域連携、校種間連携等	②特別な支援を必要とする生徒への対応、インクルーシブ教育	
	11月	—	③専門学科・総合学科の在り方、取りまとめ(中間案)	③スクールミッションの再定義、取りまとめ(中間案)	③ICT活用、地域資源活用、取りまとめ(中間案)	③多様な学び学校(不登校特例校)、個別最適な学び、取りまとめ(中間案)	
	12月	・部会取りまとめ(中間案)報告					
R7	1月		④取りまとめ(最終案)	④取りまとめ(最終案)	④取りまとめ(最終案)	④取りまとめ(最終案)	
	3月	・部会取りまとめ(最終案)報告 ・答申中間案(素案)の検討	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 産業教育審議会の検討状況を反映 → 「少子化を踏まえた専門高校・専門学科の在り方について」R6.12に提言予定 </div>				
	5月	・答申中間案の取りまとめ					
	(6月) 答申中間案公表、パブリックコメント募集						
	(7月) 意見聴取会						
	8月	・パブリックコメントの結果報告 ・意見聴取会の結果報告 ・答申案の検討	—	—	—	—	
10月	・答申案の検討及び取りまとめ(答申)	—	—	—	—		